

創業一年の新進企業の社長。創業九十三年の歴史を持つ老舗企業の専務。そんな二つの肩書を持つのが、昭和四十三年生まれの三十四歳、独身の木幡巖社長です。ワイザード代表であると同時に、本家である木幡計器専務でもあります。木幡計器は明治四十二年(一九〇九年)、創業者の曾お爺さまが大阪市西区鞠で、「木幡計器製作所」として創業しました。圧力計や圧力スイッチのメーカーです。「錆印」の圧力計つて、あの「戦艦大和」にも使われていたとか…。「本家はメーカー。ワイザードはインターネットのサーバーを構築。一般ユー

ソリューション会社。ふたつの事業は関係ない」と思われるでしょうが、実はそんな二つの事業がシナジー(相乗効果)を生んでるのですわ。

ワイザードの前身は木幡計器の情報部門。コンピューター好きの木幡社長は平成九年、何を考えたのか、パソコン教室のフランチャ

関西発

元気の素

よしだが行く!

ワイザード 木幡巖社長



中小企業のIT化を支援

イズ(F.C.)に加盟。コンサー向けから「トータル・ビューラー」を社内ツールからインターネット・ソリューション」をテーマにした企

業とはまったく違った、IT(情報技術)業界

う、IT(情報技術)業界の融合ってところも憎い演出ですね。

しての歴史です。ホームページ制作からパソコン研修、業務システム、社内LANの構築まで中小企業のIT化を支援。大阪市港区市岡元町3ノ9ノ20(<http://www.wizard.ne.jp/>)

僕の経験からして、サービス業とか小売りと違つて、メーカーのサイト構築は難しいんです。「ウェブでどうするのか?」から考えながります。これはお客様が一般ユーザーやないからです。

これからワイザードについて聞くと、「うま

く本業と連携させながらウェブの戦略的構築をプロデュースすることができます。木幡計

器は大阪で製造業を九十年やってはるですから。昨日、今日の話ちがいまつせ。九十年でっせ。

た。ところが新しい業界

から木幡計器という会社を見てみると、まったく違うように見える。会社

の歴史もそうですが自社

あません。これはお客様

が一般ユーザーやないか

ました」と語る木幡社長。

これからワイザード

について聞くと、「うま

く本業と連携させながら

コンサルティングできる

ら、中小企業のIT化を

ます」とのことです。

三月末にめでたく設立

一周年を迎えた、記念

行事にも呼んでいただき

ました。それが生のお囃子

会やったんです。デジタル

な事業とアナログな寄

い演出ですね。

いたら、一目瞭然なん

うに思います。本業は古

(大阪産業創造館あきな

い・えーど所長 吉田雅

の先行きに閉塞感があつた際に力になったの

ントさんが圧倒的に多い。

その際に力になつたの

吉田雅

吉田雅